

第40回高エネルギー加速器セミナー（OHO'23）開催報告

高エネルギー加速器研究機構・加速器研究施設

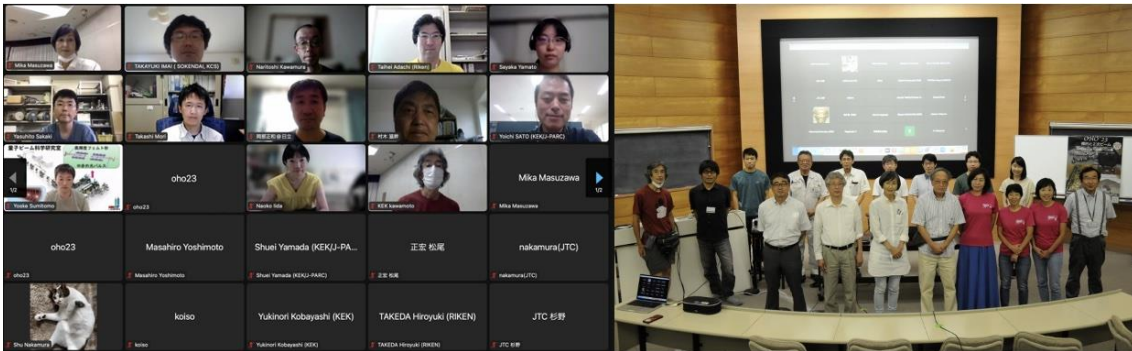
増澤 美佳

第40回目の開催となった今回は9/5（火）～9/8（金）に開催され、「標的と2次ビーム」をテーマにKEK内外からそれぞれの分野の第一線でご活躍中の研究者の皆様にビームを「生成する側」と「利用する側」からの講義をして頂きました。プログラムには、初日にOHO'23の基調となる2次ビーム生成に欠かせないプロセスである放射線と物質の相互作用についての講義を入れ、次に陽電子、ミュオン、ハドロン、中性子、ニュートリノなどの2次ビームとそのビームを作り出すために必要な標的についての講義を組み込みました。



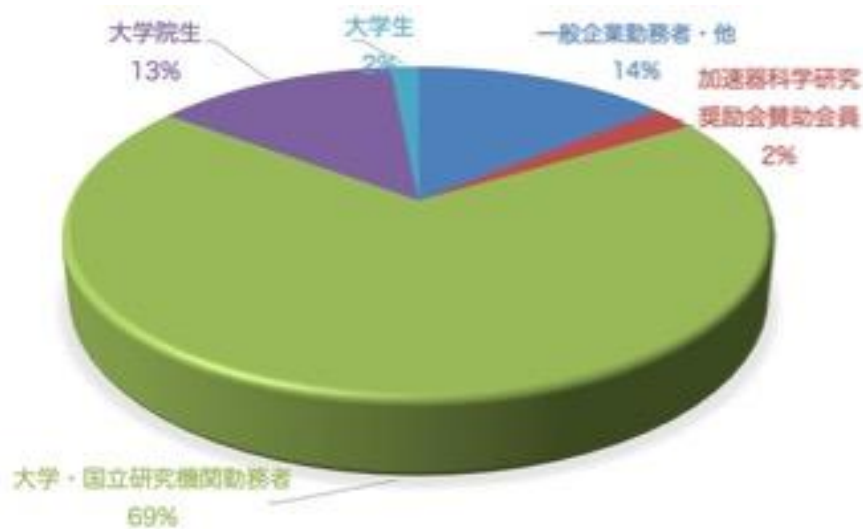
講義風景

OHO名物の「夜話」では高エネルギー加速器研究機構名誉教授の佐藤康太郎氏に「宇宙線ミュオンによるピラミッド探索」と題して宇宙線ミュオンを使って大ピラミッドを透視するScan Pyramid計画についての概要とKEKの観測結果や課題について様々なエピソードをまじえながらご講演頂きました。「エジプト版ウォシュレットの構造がなぜそうなっているのか」についてのご解説には目から鱗が落ちた、という感想をある参加者の方から後に頂きました。



参加者

参加登録者数は約 130 人で、その内訳は 69%が大学・国公立研究機関関係者、15%が学部・大学院生、14%が一般企業の方でした。昨年と比較すると一般企業からの参加者が 10%強減少しております。後に寄せられましたコメントの、メーカー勤務なので（昨年のテーマであった）超伝導技術や真空技術などが絡まないと参加しにくい・できない、が今回の一般企業参加者の減少の一因だったようです。また、今年も、例年よりも半月ほど遅く開催された加速器学会の翌週の開催であったこともありスケジュールが密になったことで参加を見合わせた学生さんもいらっしゃるかも知れません。次回からは他の会議やワークショップの開催予定も考慮して日程を決める必要もあります。



参加者内訳

今回の施設見学は9/7（木）にKEK つくばキャンパスと9/8（金）にJ-PARCを予定していましたが、台風13号の接近に伴い風雨が強くなったことからやむを得ずJ-PARC ツアーを中止しました。セミナー後のアンケートで「来年こそはJ-PARCの見学をしたい」とのご意見がありましたので、次回へ引き継ぐことにします。

開催形式については今回も対面とzoomを併用したハイブリッド形式にしました。対面形式の方が講師や他の参加者との交流が増えるというメリットがある一方で遠方の方や常時参加することがスケジュール的に難しい方にとっては参加へのハードルが上がるというデメリットもあります。一長一短ですが「講義はやはり対面に限ると思った。雰囲気もそうだし、質問もしやすく、話も弾みやすい。オンラインは気軽に参加できるが、オンラインで参加できたら、わざわざ対面で参加しなくていいかなという人も一定数いると思う。案はないが、より対面で参加したくなるような工夫をしていただけるとより良いものとなると思う。」というご意見があり、ハイブリッド形式は残しつつも対面で参加したくなるようなセミナーにしていけるような工夫が必要であることを改めて認識しました。

講義内容については「昔のOHOは大学のような講義形式でしたが、今回は新しいトピックも多く、学会のように専門の講師の話聞くことができ、良かったです。」というようなポジティブな意見があった一方で、「休憩の取り方を講師に任せるのではなくて、予めプログラムを組む段階で決めておいて欲しい」、という意見もありました。施設見学については実際の装置を見ることができて良かったと概ね好評でした。一つ一つの施設の見学時間が短くて駆け足で終わってしまったのが残念だという意見や施設見学を2回入れるのであれば1回目を早めにすることで参加者同士の交流も促進されるのではないかというご提案もありました。

最終日は台風の影響を受けて残念ながらJ-PARC ツアーが中止となってしまいましたが、開催中体調を崩される方もなく、無事にOHO'23を終えることができました。参加者をはじめ関係者の皆様のご協力・ご尽力に感謝いたします。



つくばキャンパス施設見学

OHO'23 のプログラムについては以下のリンクよりご覧頂けます。
<https://conference-indico.kek.jp/event/214/>